

平成30年11月理事会議事録

1 開催日時 平成30年11月26日（月） 14時56分 ～ 15時26分

2 場 所 社会保険診療報酬支払基金本部

3 出席者

理 事 長	伊 藤 文 郎
専 務 理 事	三 好 昌 武
公 益 代 表 理 事	清 谷 哲 朗
同	築 瀬 博 章
保 険 者 代 表 理 事	高 橋 直 人
同	鳥 海 孝 治
同	長 尾 健 男
同	鈴 木 茂 明
被 保 険 者 代 表 理 事	木 暮 弘
同	木 村 敬 一
同	吉 田 直 浩
同	伊 藤 彰 久
診 療 担 当 者 代 表 理 事	中 川 俊 男
同	松 本 純 一
同	牧 野 利 彦
公 益 代 表 監 事	木 内 充
保 険 者 代 表 監 事	内 田 好 宣
被 保 険 者 代 表 監 事	田 中 伸 一
診 療 担 当 者 代 表 監 事	篠 原 彰
常 任 顧 問	助 川 正 博
参 与	安 部 好 弘

- 4 議 題
- 1 報告事項
    - (1) 役員選任の認可
    - (2) 「第1回規制改革推進会議 医療・介護WG」によるヒアリング
    - (3) 平成30年北海道胆振東部地震に伴う被災医療機関の概算請求状況（9月診療分に係る確定状況）
    - (4) 特別審査委員会審査委員の委嘱
    - (5) 監事意見書の提出
  - 2 定例報告

- (1) 平成30年9月審査分の審査状況
- (2) 平成30年11月審査分の特別審査委員会取扱状況
- (3) 平成30年10月理事会議事録の公表

### 3 その他

## 5 議事内容

### (理事長)

ただいまから理事会を開催する。

本理事会の議事録署名者を高橋理事、吉田理事にお願いする。

また、本日は、診療担当者代表の松本吉郎理事が欠席である。

この結果、本理事会は、理事会の構成員である理事長及び理事の総数16名のうち、15名の出席を確認したので、支払基金定款第21条第1項に規定されている定足数を満たしており、本理事会が成立することを申し添える。それでは、議題に入らせていただく。

報告事項(1)「役員選任の認可」について報告する。

前回の理事会において、公益代表理事として神田裕二氏、三好昌武及び清谷哲朗、公益代表監事として木内充を選任することについて議決いただき、厚生労働大臣に認可申請していたところ、11月19日付けをもって認可を受けたので報告する。

次に、報告事項(2)「第1回規制改革推進会議 医療・介護WG」によるヒアリング」について事務局から報告する。

#### -----事務局から資料説明-----

10月29日に規制改革推進会議の医療・介護WGから、支払基金改革の進捗状況について、厚生労働省及び支払基金に対してヒアリングがあり、平成30年度における支払基金改革の主な取組事項（審査プロセスの効率化・高度化の推進、より公平な審査の実現に向けた審査基準の統一化、支払基金の組織の在り方の見直し、レセプト摘要欄の選択式記載に基づくコンピュータチェックの開始、学識経験者審査委員による判断の仕組みの確立等）について報告した旨を説明。

### (理事長)

本件について、質疑・意見等があれば承る。

### (診療担当者代表理事)

ある程度コンピュータチェックで行うというのは必要なことだと思うが、

スライド12ページに記載があるとおり、レセプト様式を見直して症状詳記を簡略化すると、これまでいたずらに病名を増やすことなく、症状詳記でその患者の様子を伝えて、審査する流れがあったが、これでは病名を増やすことにならないかという懸念があるのだが、その点についてどのように考えているのか。

(事務局)

基本的に今回の見直しについては、これまでのフリーテキスト記載事項の一部について、選択してレセプトに記載できる形に直したということなので、これまでと取扱いが変わることはない。そこについては、基本的には現場の簡素化、簡略化を図れるようにということで導入したものである。方向性としてレセプト病名を求めていくということではない。

(診療担当者代表理事)

フリーテキストというのは診療側が自分の言葉で書いてくるので、審査する側にとっては非常に読みづらい。選択式にしてレセプトに表示した方が審査はしやすいと思う。

ところが、やはり患者一人一人違うので、その様子をフリーテキストで書かなければ伝わらない部分があるのだが、それは無くなる訳ではないという理解でよろしいか。

(事務局)

あくまでも選択式にすることで簡略化されるものについて、これまでも要望を出してきたという経緯があり、今回導入したものである。フリーテキストということで記載しているが、摘要欄に必要な事項を記載していただくことについては、これまでもお願いしているところであり、これからもそこは変わらないということで、基本的には進めたいと考えている。

(理事長)

他に、質疑・意見等があれば承る。

(質疑・意見等なし)

次に、報告事項(3)「平成30年北海道胆振東部地震に伴う被災医療機関の概算請求状況(9月診療分に係る確定状況)」について事務局から報告する。

-----事務局から資料説明-----

「平成30年北海道胆振東部地震に伴う被災医療機関の概算請求状況(9月

診療分に係る確定状況)」について、9月診療分の被災医療機関に係る概算支払及び概算請求額確定状況を説明。

---

(理事長)

本件について、質疑・意見等があれば承る。

(質疑・意見等なし)

次に、報告事項(4)「特別審査委員会審査委員の委嘱」について報告する。特別審査委員会の審査委員の任期については、本年11月13日をもって満了となったことから、11月14日付けで特別審査委員会における審査対象レセプトの拡大に伴う6名を増員し、60名の先生方を委嘱したところである。

この委嘱状況等については、スライド17ページに記載しているので、後ほどご覧いただきたい。

各推薦団体の皆様には、今回の改選に際し、種々のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

本件について、質疑・意見等があれば承る。

(質疑・意見等なし)

次に、報告事項(5)「監事意見書の提出」について公益代表監事から報告する。

(公益代表監事)

11月15日付けで、支払基金法、定款に基づいて、「支払基金の内部統制システムの課題」というタイトルで、私から理事長宛てに意見書を提出した。

なお、詳細については、お手元の資料No.2をご覧いただきたいと思うが、12月末までに回答をいただくようお願いしているところである。

内部統制システムということで、既に会社法においては株式会社、それから独立行政法人についても、独立行政法人通則法でその構築が求められており、支払基金はこの2つの法律の対象ではないものの、全国規模の大組織ということでもあるので、当然内部統制システムをしっかりと構築して、レベルアップに努めることが求められていると考える。

私自身、常勤監事として3年半監査活動をしてきたので、このタイミングで個別の問題の指摘に留まらず、全般的な課題を要素別に整理し、意見書として取りまとめをしようということで、作成をしたものである。今後、

改善状況をフォローしていく。

スライド19ページに内部統制の構造というフレームワークを記載しており、その下段の6つのテキストボックスが内部統制の要素で、それぞれについて現状の支払基金にどのような課題があるのかを整理し、意見書として取りまとめを行った。

スライド20ページであるが、「統制環境」については、どのような統制環境を作っていくか、どのような行動・言動が奨励されるのか、さらに組織風土改革などは統制環境を形成する上で非常に重要であるということも意見として述べた。

「リスクの分析と評価」というところでは、リスク管理が各部室に、あるいは支部に任されているという状況なので、網羅的にリスクを把握して評価し、定期的に経営陣に報告して対応方法を決定していく作業が必要であるというような意見を述べている。

「統制活動」についてであるが、業務の改善・効率化に関しては、幾つかのトリガーがあるが、それらを仕組みとして構築して、具体的に改善をしていく、効率化を進めていく、そういう仕組みが必要だろうということを示した。

「情報の伝達と共有」というところでは、事故に係る報告のルールを整備し、それから組織内の情報共有の範囲や手段に関する基本原則を定め、更に組織内の通知・事務連絡については現状の問題を洗い出して効率化を図り、また最新ルールの把握が困難である状況があるので、この辺りを分かりやすく確認できる仕組みの作成といったものを求めたところである。

「ICTの活用」については、業務プロセスにおいて、コンピュータで行っていく部分とアナログで行っていく部分を明確化し、リスクの高いアナログの部分をしっかりリスクコントロールできる態勢が必要であると指摘した。

最後に「監視活動」については、既に平成28年度の監事意見で述べているところではあるが、内部監査の充実を中心に、意見を述べたところである。

先ほど話したとおり、各個別の項目の改善状況については今後、監事の立場からフォローしていきたいと考えている。

(理事長)

本件について、質疑・意見等があれば承る。

(質疑・意見等なし)

次に、定例報告(1)「平成30年9月審査分の審査状況」について、事務局か

ら報告する。

-----事務局から資料説明-----

平成30年9月審査分の審査状況を報告。

-----

(理事長)

本件について、質疑・意見等があれば承る。

(質疑・意見等なし)

次に、定例報告(2)「平成30年11月審査分の特別審査委員会取扱状況」について、事務局から報告する。

-----事務局から資料説明-----

平成30年11月審査分の特別審査委員会取扱状況について報告。

-----

(理事長)

本件について、質疑・意見等があれば承る。

(質疑・意見等なし)

次に、定例報告(3)「平成30年10月理事会議事録の公表」について報告する。

10月理事会議事録については、皆様方に議事内容を確認いただいた上で、議事録署名者である長尾理事、木暮理事にご署名いただいているので、速やかに支払基金ホームページに掲載することとする。

本件について、質疑・意見等があれば承る。

(質疑・意見等なし)

最後に「その他」であるが、皆様方の中で、何か質疑・意見等があれば承る。

(質疑・意見等なし)

次に、12月の理事会について連絡させていただく。12月17日(月)の午後4

時からこの場所で、理事長互選会を開催し、引き続き理事会を開催することとしている。

それでは、私については本理事会が最後となるので、この場をお借りして、一言ご挨拶させていただく。

(理事長退任挨拶)

それでは、本日の理事会はこれをもって閉会とさせていただきます。

平成30年11月26日

理 事 長 伊 藤 文 郎

保 険 者 代 表 理 事 高 橋 直 人

被 保 険 者 代 表 理 事 吉 田 直 浩